

子育て安心の 川崎を

2013年、第4回定例会



このまちとともに

今こそ認可保育所の抜本的増設を

(代表質問より)

1年で待機児ゼロ！

認可保育所の入所申請が急増し、申請しても入所できない児童数は、昨年4月時の2765人から、10月時に4494人に。現在整備中で、今年4月に開設予定の定員増は、全部で1330人分です。2015年4月に待機児ゼロにするため、14年度中の抜本的な認可保育園の緊急増設を求めました。

市長は、選挙公約の最重要課題としつつも、「認可保育所の整備については社会福祉法人や民間事業者等と現在協議を進めている。認可外保育事業の有効活用や相談支援機能等の一層の充実と合わせ必要数を計画的に整備していく」と答弁。児童福

祉法は保育の公的責任を明記していません。認可外の整備は民間主導であり、2015年度から始まる「子ども子育て新制度」の移行がまだ不透明のなかで、認可外による待機児解消になり得るだけの大きな拡大は困難と指摘し、補正予算を組んでも認可保育所の整備を急ピッチに進めるよう求めました。

認可外保育所にも支援の拡充を
(子ども本部長の答弁より)

① 認可外への市の助成を継続すべきたが
答弁「新制度に移行するまでの期間、国の動向を注視しつつ助成を継続する」

② 認可外から、新制度の「認可保育所」や「小規模保育」に移行するための施設整備と保育士確保を支援すべきでは
答弁「実施に向けて、国の「待機児解消加速化プラン」の移転支援事業や保育士確保のメニューを使い支援できるように、関係局と調整を図っている。」

母子保健業務をになう区役所保健福祉センターの体制の充実を



就学前人口が増える中、妊娠中から就学前の母子保健事業を担う区保健福祉センター・児童家庭課の体制の強化を求めました。

2012年度の乳幼児健診は94%から98%の実施率。4ヶ月までの赤ちゃんのいる家庭すべてを訪問する「新生児訪問」と「こんには赤ちゃん訪問」は合わせて89%の実施率。石田議員は実施率を上げる保障は、この他、予防接種、育児相談、虐待防止等と多忙を極めている保健師さん等の体制の強化が必要と主張しました。

増加する認可保育所の入所申請の窓口対応と入所不承諾の人への親身な対応とコーディネートまで行う窓口の増員を質問。
*子ども本部長は、「早急に区役所支所の相談窓口の体制の充実を図る」と答弁。

石田議員は年明けからの増員を要求しました。
近年増加傾向のDV相談などにおける女性相談員は、各区1人で非常勤勤務です。
2012年に石田議員に検討が約

束されていた保健福祉センターの体制の充実について質問。

*子ども本部長は、「保健福祉センターに社会福祉職、心理職等を新たに配置し、専門職との連携により組織的対応を図っている」と答弁。

地域の子育て支援の核になる『新たな公立保育所』に保育士の増員を

全公立保育園は園庭開放等地域の子育て支援を実施しています。市は、各区3力園に「地域の子育て支援、民間保育所への支援、公民保育所への人材育成」の機能をもつ「新たな公立保育園」とし、3力所以外の公立園を10年間で民営化する計画です。すでに今年度川崎区と宮前区で3力園を指定、区役所子ども支援室に課長級含め5名配置し、モデル実施。その検証を行って来年度全区で実施するとしています。石田議員は、公立保育園が身近な場所にあつてこそ、地域の子育て支援の役割を果たせるとして民営化

③今年度、新制度における認可、確認要件の条例化に際して、保育の質が担保される基準にすべきだが
答弁「国の定める基準を踏まえ、保育の質の確保に留意しつつ検討をすすめる」
④保育料の補助の拡充について質問
答弁「10月より月5000円の補助を実施したが、認可と比べて負担が大きいので補助金額の拡充を検討する」

すべきでないと主張してきました。
3力園では「親子でランチ」「父親の子育て体験講座」「プレママ、パパ講座」公開保育、出張講座等多彩な支援を現場の保育士の増員なしで実施しています。増員すべきと質問。市長は「検証を踏まえ、必要な人員の配置をしてまいります。」と答弁しました。

単独型地域子育て支援センターに係長を配置すべき

また、元公立幼稚園は現在、子育て支援センターとして多くの親子に利用されています。「新たな公立保育所」構想に基づき園舎と園庭を活用して「健康講座」「保育連続講座」等も行われていますが、今年度、当センターから係長をひきあげ、子ども支援室との兼務にしました。もとどおり係長を配置すべきと質問。市長は「子ども支援室主体でバックアップを行い管理運営に努める」と答弁。

「新たな公立保育所」の検証と考察(報告書)
～平成25年4月から9月までの事業実施を踏まえて～



平成25年10月
子ども本部・川崎区役所・宮前区役所

津田山駅の橋上駅舎の取り組みを質問

(まちづくり局長の答弁)

◆これまでの市の取組み
◎これからの取組み

◆2012年12月JR東日本と基本覚書締結後、概略設計をJR東日本に委託し、13年8月に完了

◆現在、2014年度の工事着手に向け詳細設計を進めている。
◎2014年度、JR東日本と工事施工協定を締結、工事着手
◎2017年度頃工事完成、供用開始(スケジューリングは今後の検討や状況等により変わる場合がある)



下作延小学校との協議状況は？

*「隣接する下作延小学校については、自由通路にアクセスするための歩道を校内に整備するにあたり、同小学校と遊具の再配置等について協議・調整を進めている」と答弁

駐輪場はどのようになる？

*「自由通路を整備する際、現在の公共駐輪場となっている土

地を使用するため、既存駅舎の撤去後の用地を駐輪場の代替用地として活用することをJRと合意している」と答弁

ホームの屋根の拡張について

「JRに要望しているが、全駅対象に乗降人数等を勘案しながら、順次整備を進めるとの回答である。」と答弁

駅ホームのインターホンの設置は

*「駅員の対応に課題があることから困難と伺っている」

石田議員は、屋根の拡張工事を一体で行う事と溝の口駅との駅員連携を要望し、遠距離切符と定期券も購入できるようJRに要望することを求めました。

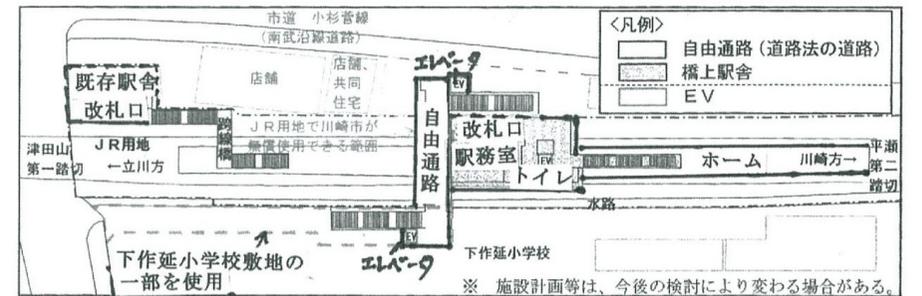


図5 津田山駅整備計画図

ワンコインがん検診で受診率の向上を

本市の死亡原因の1位はがんです

「がん検診の受診率を政令市トップレベルに引き上げる」と公約した市長に、ワンコインがん検診を提案しました。①2012年度の本市の受診率と②20政令市中の順位③「健康づくり21」計画で掲げる10年後の目標値④2011年度政令市1位の市と受診率は下表のとおり。

	①	②	③	④
胃がん検診	6.8%	12位	15%	仙台市19.9%
肺がん	20.2%	8位	30%	千葉市32.9%
大腸がん	20.7%	9位	30%	浜松市32.0%
子宮頸がん	21.9%	11位	30%	名古屋市52.4%
乳がん検診	19.2%	8位	30%	仙台市37.7%

ルの受診率とほぼ同じなので、10年後ではなく、任期中を目途

川崎市 がん検診等のご案内

川崎市では、通年で各種がん検診を実施しております。今回対象となる無料クーポン券を使用して受診できる検診以外にも、会社等で受診の機会のない方は、ぜひ御利用ください。

実施場所はすべて市内登録・協力医療機関です。

必ず「川崎市の検診」を希望と伝えてください。

「受診できるのは年度に1回です。」
ただし子宮がん・乳がん検診については2年度に1回(隔年度)受診です。なお、登録しう症検診は対象年齢<若年齢>時に1回です。

「受診券はありません。(歯周疾患検診を除く)」
お申込みは市内登録・協力医療機関に直接ご連絡をしていただき、受診日時をご確認の上、お出かけください。検診の日時、年齢・住所が確認できる保険証等の提示を必ずしてください。(実施場所により、検診人数の制限がある場合があります)

※市内登録・協力医療機関につきましては、登録申請書や検診実施センターに直接お問合せください。また、川崎市のホームページでもご紹介しています。

次の方は無料で受診することができます

- 70歳以上の方(平成25年度のうちに70歳に達される方も含みます)
- 住民税非課税世帯の方、生活保護受給世帯の方、中国残留帰国者支援施設付受給世帯の方
- 特定高齢者(高齢者福祉課)または高齢者福祉課(高齢者福祉課)に所属する方
- 肺炎ウイルス検査については裏面の対象者全員が無料です。

川崎市 健康福祉局健康安全部 <がん検診等> 健康増進課 ☎(044)200-2431
<がん検診等> 健康増進課 ☎(044)200-2441

各区保健福祉センター 川崎区保健福祉センター 地域健康支援係 ☎(044)200-2441
川崎区保健福祉センター 地域健康支援係 ☎(044)200-2441

市内唯一の夜間中学級を視察しました

12月4日の夕方、市内唯一の市立西中原中学校の夜間中学級を議員団7名で視察しました。説明の冒頭で「これをみれば夜間中学の事がよくわかる」とテレビ【噂のチャンネル】で紹介されたこの学級の83歳の卒業生チエさんが定時制高校に進学し野球部で活躍するビデオをみせていただきました。



川崎市立西中原中学校の夜間学級

孫のような同級生のなかで頼りにされ励まし合い県大会準優勝まで進んだ感動的な話です。夜間学級に出会い、高校にも進み、青春を謳歌するような生き方は多くの方に励ましを与えていると思います。学校では最近、校舎に夜間学級の横断幕を掲げ、電車から見えるようにしたことです。中学校に通いきれなかったという人が再び学ぶ事ができる場として多くの人たちに夜間学級を知ってもらいたいと思います。

いる名古屋市のワンコイン健診は500円を本市も検討すべきと質問しました。市長は「一義的には個別受診勧奨などを実施し、進捗を考慮しながら、ワンコイン健診等を含めた手法についても受益者負担の適正化、費用対効果の観点を踏まえ、検討していきたいと考える」と答弁しました。